佛教大学通信教育課程

学外講演会開催!!

来聴歓迎
入場無料

講演会終了後、通信教育課程入学説明会を開催します

第1弾 名古屋会場

日 時：2018年11月11日(日) 午後1時～2時20分（受付開始12:30）
会 場：名古屋キャッスルプラザ（名古屋市中村区名駅4-3-25）

「明治維新とは何だったのか ―大名領主の解消と中央集権―」

講師　佛教大学歴史学部教授　**青山 忠正**

1950年　東京都生まれ
2005年　佛教大学文学部教授
2010年　佛教大学歴史学部教授、現在に至る。博士（文学・東北大学）

主要著書

『明治維新と国家形成』吉川弘文館 2000年
『明治維新の言語と史料』清文堂出版 2006年
『高杉晋作と奇兵隊』吉川弘文館 2007年
『明治維新史という冒険』思文閣出版 2008年
『日本近世の歴史6 明治維新』吉川弘文館 2012年
『明治維新を読みなおす－同時代の視点から』清文堂出版 2017年

幕末や維新と聞くと、「勤王の志士」の活躍や、倒幕の達成といったフレーズが、まず連想されるかもしれません。しかし、そういった事象は、あまり本質的なこととは言えません。むしろ、国家の手によって、事態の本質を覆い隠すために作られ、流布された言説、という側面が強いからです。19世紀の列島領域に生じた変化の最大の部分は、大名領主が解消されたことです。この講座では、その過程と意味について、考えてみましょう。

第2弾 岡山会場

日 時：2018年11月25日(日) 午後1時～2時20分（受付開始12:30）
会 場：ホテルグランヴィア岡山（岡山市北区駅元町1-5）

「ことばと暮らし」

講師　佛教大学名誉教授　**坪内 稔典**

1944年　愛媛県生まれ
2002年　佛教大学文学部教授
2016年　佛教大学名誉教授　公益財団法人柿衛文庫理事長

主要著書

『子規山脈』日本放送出版協会 1987年
『俳人漱石』岩波書店 2003年
『言葉の力』思文閣出版 2005年
『正岡子規－言葉と生きる』岩波書店 2010年
『坪内稔典コレクション』第1巻～第3巻 沖積社 2010～2013年
『四季の名言』平凡社 2015年
『ヒマ道楽』岩波書店 2016年

素敵な人はことばまで素敵です。生き生きと暮らしている人のことばもまた生きて弾んでいます。素敵な人だからことばがすてきなのか。いや、もしかしたら逆かもしれません。その人は素敵なことばを身につけているので素敵なのです。ことばが生きて弾んでいるので、それで生き生きとした暮らしが実現しているのです。　要はことばです。私たちはことばを使って見たり感じたり考えたりしています。素敵なことばを身につけているとき、その人は素敵です。また、暮らしも生き生きとします。ことばは暮らしの源泉なのです。そのことばについて考えます。

佛教大学通信教育課程　学外講演会開催!!

講演会終了後、通信教育課程入学説明会を開催します

来聴歓迎
入場無料

第3弾 東京会場

日 時：2019年1月19日（土）午後1時～2時20分（受付開始12:30）
会 場：第一ホテル東京（東京都港区新橋1-2-6）

「いま、仏教が問われていること」

講師　佛教大学名誉教授　並川 孝儀

1947年　京都府生まれ
1995年　佛教大学文学部教授　博士（文学・佛教大学）
2001年　佛教大学文学部長、文学研究科長（～2005年3月）
2010年　佛教大学仏教学部教授
2015年　佛教大学副学長（～2016年3月）
2018年　佛教大学名誉教授

主要著書
『ゴータマ・ブッダ考』大蔵出版 2005年
『スッタニパーター仏教最古の世界ー』岩波書店 2008年
『ゴータマ・ブッダ　縁起という「苦の生滅のシステム」の源泉』佼成出版社 2010年
『インド仏教教団 正量部の研究』大蔵出版 2011年
『ブッダたちの仏教』筑摩書房 2017年

ゴータマ・ブッダ（釈尊）に始まり二千五百年もの長き歴史を歩んだ仏教は、常に時代と地域に生きた人々の苦悩に向き合い、それに呼応すべく仏教者は宗教体験を通して苦悩からの脱却や救済の方法などの教えを創出し、変貌を遂げながら新たな仏教を開花させてきました。では、「今」と「日本」に生きる我々にふさわしい教えを、現代の仏教は開示しえているのでしょうか。現代仏教の意義について考えてみたいと思います。

第4弾 福岡会場

日 時：2019年1月27日（日）午後1時～2時20分（受付開始12:30）
会 場：ホテル日航福岡（福岡市博多区博多駅前2-18-25）

「いじめ問題にどう対応するか」

講師　佛教大学教育学部教授　原 清治

1960年　長野県生まれ
2005年　佛教大学教育学部教授、現在に至る。（学術博士・神戸大学）
2007年　佛教大学通信教育部長（～2009年3月）
2011年　佛教大学教育学部長、教育学研究科長（～2014年3月）
2015年　京都市教育功労賞受賞

主要著書
『学力論争とはなんだったのか』（共著）ミネルヴァ書房 2005年
『学力問題・ゆとり教育』（編著）日本図書センター 2006年
『若年就労問題と学力の比較教育社会学』ミネルヴァ書房 2009年
『論集日本の学力問題』上・下巻（編著）日本図書センター 2010年
『ネットいじめはなぜ「痛い」のか』（編著）ミネルヴァ書房 2011年
『新しい教職教育講座』全23巻（監修）ミネルヴァ書房 2017年～

子どもたちを取り巻く環境は、時代とともに大きく変化してきています。とりわけ、インターネットの普及は、子どもたちの人間関係のあり方まで変えたと言われています。そうした中で、とりわけ「いじめ問題」はさまざまな対応がなされているものの、実態がなかなかつかみ難い問題だとも言われます。本講演では、こうしたいじめ問題を中心に、子どもたちをどのようにとらえればよいのか、またどのように対応していけば良いのかについて考えてみたいと思います。

学外講演会の参加お申込みは
佛教大学通信教育課程のホームページからお願いいたします。（http://tsushin.bukkyo-u.ac.jp/）